

| プログラム名 | | | | | | | |
|---|---------------|---|-----|-----------|-----------|----|----|
| 防災・復興人材特別プログラム(人間社会環境研究科) | | | | | | | |
| プログラムのCP(教育課程編成に関する基本的考え方) | | | | | | | |
| 本プログラムでは、災害に遭った人々や地域社会を支援するために必要な関連基礎知識ならびに防災に関する基礎知識を学び、災害時の専門的対応や災害支援や復興予防活動等を行う際の手続きや心構えを学ぶことができる教育科目を体系的に編成する。 | | | | | | | |
| 教育内容・教育方法(教育課程実施)に関する基本的考え方 | | | | | | | |
| 1. 教育内容 (1)災害の発生原因やその仕組み、発生可能性を学び、起こり得る災害への備えや防災対策の必要性を学ぶ。 (2)被災した人々や被災地域の社会を支援するための組織的対応や手続き等を学ぶ。 (3)復興を目指す際に求められる視点等を学ぶ。 | | | | | | | |
| 2. 教育方法 (1)現地での被災支援や復興防災計画に関わるために求められる基礎的知識を学ぶ。 (2)多様な問題や課題、また多様な視点があることを議論を通して学ぶ。 (3)本プログラムの履修者には多様な研究分野の学生を想定しており、特に学生の研究課題が災害や防災、復興等に関わる場合に、その研究活動の礎となる知識の学修と研究力の涵養とを目指す教育プログラムである。 | | | | | | | |
| プログラムを構成する科目 ※1 | | | | | | | |
| 科目番号 ※2 | 授業科目名 ※3 | 学修目標 | 学年 | Q1 | Q2 | Q3 | Q4 |
| 12001 | 防災・復興の人間社会環境学 | 人間社会環境研究科における防災・復興関連の教育・研究を概観し、より専門的な学習への橋渡しをする。 | 1~2 | | | ○ | |
| 12002 | 防災・復興特論 | 防災と復興について高度に理解し、主体的に行動できる知識や態度を修得する。 | 1~2 | | ○ | | |
| 30320 | 被災文化財の現状と課題 | 令和6年能登半島地震と奥能登豪雨の被災文化財救援の現状を解説するとともに、阪神・淡路大震災、東日本大震災、熊本地震の被災文化財救援活動についても説明する。また、海外の事例なども適宜参考にして授業を行う。学生は被災文化財救援の課題を理解し、その解決方法について考える能力を身につける。 | 1~2 | | | ○ | |
| 35223 | 農村計画特論Ⅰ | わが国の農村の特質と農村計画について学ぶ。農村計画論「I」では、土地利用計画と生活環境整備を重点的に取り上げる。 | 1~2 | ○ | | | |
| 35224 | 農村計画特論Ⅱ | わが国の農村の特質と農村計画について学ぶ。農村計画論「II」では、農村環境の保全と管理、撤退の農村計画を重点的に取り上げる。 | 1~2 | | ○ | | |
| 35173 | 河川環境特論Ⅰ | 河川と人の営みを学び、今後の水・国土管理のあり方について思考することができる。 河川計画についても学び、河川管理について体系的に理解することができる。 | 1~2 | | ○ | | |
| 35174 | 河川環境特論Ⅱ | 河川と人の営みを学び、今後の水・国土管理のあり方について思考することができる。 河川計画についても学び、河川管理について体系的に理解することができる。 | 1~2 | | ○ | | |
| 35285 | 災害時マネジメント特論 | 大規模災害が発生した時に、支援マネジメントに参加するための知識と技術を高度に理解する。 | 1~2 | | | | ○ |
| 35019 | 災害復興支援応用実習 | 自然災害が発生した被災地において、被災者支援を実践的に学び、被災者に寄り添う支援を企画・立案する。 | 1~2 | | ○ (集中) | | |
| 36491 | SDGs論演習 | The aim of this course is to introduce the students to the Sustainable Development Goals and their role to deal with Socio-Environmental-Economic issues inside UNESCO Designated Sites, such as Biosphere Reserves, Global Geoparks, World Heritage Sites and Creative Cities Networks. The goal of the course is to strengthen the capacities of youth interested in sustainable development to solve environmental issues and the local and global levels. Through the independent research, students will introduce their research on sustainable development processes. The course will provide the dialogue and active exchange of knowledge on joint regional actions in relation to the conservation of biological and cultural diversity. | 1~2 | ○ (集中) | | | |
| (77656) | (防災・復興学入門A) | 多様な自然災害のメカニズムや対応策・課題を地球科学、社会基盤学の観点から総合的に理解することで、自然災害に対する問題意識を喚起する。合わせて、被災地諸機関と協働して復旧・復興を推進するために必要な基礎知識を地域創造学や観光学等の多角的視点から学修する。 | 1~2 | | ○ | | |
| (77657) | (防災・復興学入門B) | 学校における安全管理・安全教育、災害に伴う医療・福祉・保健事業支援等について対応策や課題など、被災地諸機関と協働して復旧・復興を推進するために必要な基礎知識を教育学、保健学等の観点から学修する。さらに、防災士として将来地域社会で活動することを見据え、その際に必要となる基礎的な知識やスキルを実務者からの講義や演習を通じて身につける。 | 1~2 | | ○ | | |

※1 他研究科開講の授業科目は、当該授業科目を開講する研究科等のカリキュラム・マップで確認してください。

※2 ()は共通教育科目の科目番号

※3 ()は共通教育科目の授業科目名